教員個人調書

 （その１）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 現職 |  | 性別 | 国　籍 | 生年月日(年齢) | 　年　月　日（　　歳） |
|  |  |
| 学歴 |  |
| 職歴 |  |
| 学会・社会活動 |  |
| 賞罰 |  |
| 懲戒処分歴　[ ] 有　　[ ] 無　（「有」の場合には処分の内容及びその具体的な事由を必ず記載すること。） |
| 任 用 予 定 職 |  |
| 担当予定授業科目 |  |

（その２）

|  |
| --- |
| 教　育　研　究　等　業　績　調　書 |
| 大学等における職務の現況 | 職　　名 | 担当学部等 | 担当授業科目名 | 年間担当授業時間数 | 計 |
| 専任 | 兼担 | 兼任 |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 教育上の業績 | １．教育歴２．教育方法の実践例３．作成した教科書，教材４．その他（特に重要と思われるもの） |
| 研究業績 | １．著書２．論文（査読付）　＊Corresponding Author３．作品等４．解説・総説５．国際会議論文６．研究報告７．科学研究費等の採択状況８．その他（特に重要と思われるもの） |
| 社会貢献業績 | １．共同研究等の実績２．特許・実用新案等の実績　登録　公開３．その他（特に重要と思われるもの） |
| 大学等運営上の経験・業績 |  |
| 芸術，体育等の特殊技能 |  |
| 専門分野における特別な知識，経験 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究業績の分類 | 著書 | 論文 | 解説・総説 | 国際会議論文 | 研究報告 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

教員個人調書，教育研究等業績調書記入上の注意

（詳細は別紙「記載例」参照）

１．長くとも全体で６頁以内とする。（（その１）は１頁以内とする）

２．年月日は，全て「西暦」で記載すること。

３．「現職」の欄には，大学の教員にあっては，所属する大学，学部，学科等の名称及び職名を記入すること。

４．「国籍」の欄には，外国籍である場合にのみ国名を記入すること。

５．「学歴」の欄には，大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は，これらの学歴のすべてについて記入し，その他の者は，最終学歴について記入すること。

なお，学位（論文題目），資格，称号等についても同欄に記入すること。研究生の期間は学歴欄に記入すること。

年次の古いものから記述すること。

６．「職歴」の欄には，職歴のすべてについて記入し，職名，地位等についても明記すること。

年次の古いものから記述すること。

７．「学会・社会活動」の欄には，本人の専攻，研究分野等に関連した事項について記入すること。

年次の古いものから記述すること。

８．「賞罰」の欄には，刑事罰のみでなく，過去の懲戒処分歴（学生に対するセクシュアルハラスメントや性暴力等を原因とするものなど），処分の内容及びその具体的な事由を必ず記載すること。

９．「大学等における職務の現況」欄の担当授業科目名には，学部，大学院における担当科目をすべて記入すること。（ゼミナール及び特別研究を含む）

　　オムニバス方式（複数の担当者がリレー式の講義を行うこと）による授業に関しては，自身の担当時間数のみを記入すること。

授業科目の年間時間数＝毎週授業時間数×担当週数で計算すること。毎週授業時間数は，学生便覧または大学院履修要項の教育課程表に記載されている値を用いること。毎週授業時間数が２時間の講義を１５週担当した場合は「２時間×１５週＝３０時間」となる。

所属大学の専任学部（又は学科）以外の学部（又は学科）の授業を担当している場合は兼担の欄に，所属大学以外の大学の授業を担当している場合は兼任の欄に記入すること。

民間機関等の方は非常勤講師等の経験を記入すること。

10．「研究業績」欄から「専門分野における特別な知識，経験」欄までは，該当する欄のみ記入すること。

　掲載済みあるいは掲載決定のもののみを記載すること。

「研究業績」欄は年次の新しいものから記述すること。全体が６頁以内となるように工夫すること（例：

他○○編）。なお，（他○○編）と省略した場合は，全ての論文等を記載したリストを別途提出すること。

該当するものが無ければ数字つめをすること。

11．「研究業績」欄の「１．著書」欄については，著者名，著書名，出版社，（発行年）を記入すること。

分担は執筆箇所を明記し，本人に下線を記述すること。

12．「研究業績」欄の「２．論文（査読付）」欄については，著者名，論文名，論文誌，巻，号，頁（発表年）を記入し，頁は始－終を明記すること。本人に下線を記述すること。Corresponding Authorである論文については，氏名に＊を付記すること。

Scopus掲載論文の場合，掲載されている論文誌のQuartile（Q1～Q4）を記載すること。Quartileがない場合は，【Qなし】と記載すること。なお，Scopusを使用できない場合は，インパクトファクター（IF）の数値を記載すること（IFがない場合は，【IFなし】と記載すること）。

13．「研究業績」欄の「５．国際会議論文」欄については「２．論文（査読付）」欄の記載方法に準じて記入し，査読付きのものに「査読付」と付記すること。開催地を記入すること。

14．「研究業績」欄の「７．科学研究費の採択状況」欄については，課題名，採択年，研究費名，代表・分担の別，（課題番号）を記入すること。

15．「１．著書」欄から「７．科学研究費の採択状況」欄に該当しない研究業績は「研究業績」欄の「８．その他（特に重要と思われるもの）」欄に記述すること。

16．最終頁の「研究業績の分類」欄の分類は３分類程度とする。

　「研究業績」欄の「１．著書」，「２．論文」欄等に記載した番号を記載すること。

※教員個人調書の各欄について該当がない場合には，空欄を削除するか，“なし”と記載する。

※教員個人調書に虚偽の記載等があった場合には，採用取消や懲戒の対象になることがある。